

2022 年度春学期 日本事情 1 / 浅野担当分「日本の色彩」 講義の案内

担当教員： 浅野 晃 [右の写真]

ウェブサイト：

浅野の講義サイト <http://racco.mikeneko.jp/Kougi/> で「日本事情 1」を選んでください。
また、<http://racco.mikeneko.jp/Kougi/2022s/JPN/> でもアクセスできます。

浅野に連絡するには：

関大 LMS の「メッセージ」を使ってください。



講義の内容

「日本事情 1」の最初の 5 回は、「日本の色彩」について講義します。担当の浅野晃は、色彩学・感性情報科学・画像科学の研究者です。5 回の講義の内容は、以下のとおりです。講義資料・スライドは、講義ウェブサイトまたは関大 LMS で提供します。

第 1 回 色彩学の基礎

色彩についての説明を理解するために必要な、基本的な色彩学の知識を説明します。

第 2 回 「しろ」と「あお」、「あか」と「くろ」－ 古代日本の色名

「色の名前」について、世界各地に普遍的な法則と、古代日本の色名の特徴を説明します。

第 3 回 かさねの色目－ 1000 年前の配色図鑑

かさねの色目とは、1000 年前の平安時代の貴族が、衣装の袖口などの色の配列を楽しむために、色の配置の例を紹介したものです。これは、世界で初めての配色図鑑といわれています。この「かさねの色目」に現れた、昔の日本人の美意識について説明します。

第 4 回 トイレマークの色分け－ ジェンダーと色彩

日本では、青や黒は男性を連想させる色で、赤やピンクは女性を連想させる色と考えられています。このため、トイレのマーク（ピクトグラム）は、たいてい男性用は黒か青、女性用は赤で描かれています。このような、ジェンダーと色彩の関連について説明します。

第 5 回 現代日本の色彩

現代の日本における色彩の扱われ方、ポスター印刷と色彩の関連などについて説明します。

講義の進め方と成績評価

関大 LMS で、毎回の講義について小規模な課題を提示し、回答を求めます。その内容によって、浅野担当分の成績を決定します。

△△ △◆△
≡・・≡ ≡○・○≡
()～ ()～

どうぞよろしくお願いたします。

浅野 晃